

第二四五回松山市観光俳句ポスト

第二四五回開函

「渋柿」主宰 三由 孝太郎 選

特選三句

子規句碑に合掌もして秋遍路

愛媛県大洲市 板倉 肱泉

小春日や人待つ道後の人力車

滋賀県草津市 井上 美代子

戸無門くぐりてよりの秋気かな

神奈川県平塚市 門脇 明子

入選二十句

つゆけしや子規直筆の文字かすれ

新潟県柏崎市 大塩 千代

湯上りの籠を鳴らして月今宵

山口県下関市 角田 節子

小春日和会話も弾む足湯かな

静岡県富士市 菊池 美香子

兄弟の武人の像や雁渡る

愛知県名古屋市中区 近藤 峰子

天主閣まで一歩一歩の秋日傘

埼玉県春日部市 斉藤 利彦

ようおいでたなもし木犀の子規堂に

兵庫県芦屋市 高杉 靖子

秋簾すこし巻き上げ伊予泊り

埼玉県越谷市 田口 紅子

伊予の湯に皇族の間や菊日和

東京都日野市 田村 登代子

マドンナの湯に肩沈め秋思かな

岡山県岡山市 寺尾 恒子

秋日和ぐらりと路面電車かな

栃木県宇都宮市 成島 彰子

城垣の反りゆるやかに伊予の秋

愛知県津島市 紅林 廣子

坊ちゃんのカラクリ時計秋おしむ

岡山県倉敷市 磨家 泉

髪塔に供えしままの糸瓜かな

香川県三豊市 丸岡 裕子

堀端に鷺の来てゐる小春かな

広島県広島市 望月 昌子

お座りやと席ゆずられて秋の旅

兵庫県西宮市 山谷 彰子

狭間よりのぞく秋晴れ伊予の海

広島県三原市 山原 淑恵

漱石の手練れの机秋深む

秋田県秋田市 渡辺 日出子

(市内)

旅人のどつと繰り出す城小春

愛媛県松山市 飯尾 満喜子

(十五歳以下)

どうこのゆぜっこうちようのあきびより

愛媛県松山市 森田 美郁

風呂の後愛媛みかんはおししいな

兵庫県芦屋市 吉野 豪

投句総数 一三九八

市外 二〇五〇

市内 三四八

投句者総数 一三八〇

市外 一一七〇

市内 二一〇

開函日 平成二十二年十一月三十日